

児童虐待防止「オレンジリボン運動」で啓発 キワニス、横浜駅西口で



公益的活動に取り組み、子供への支援に特に力を入れている国際社会奉仕団体「横浜キワニスクラブ」(平田克男会長)は、児童虐待防止を推進する「オレンジリボン運動」の一環として横浜駅西口で啓発活動を行った。写真。

オレンジリボンを身につけ、オレンジのジャンパーを着た同クラブのメンバー約10人がオレンジリボンのロゴマークが入ったチラシやマスク約1千個を通行人らに配布し、児童虐待防止運動や子供を守る意識の向上への理解を訴えた。

オレンジリボン運動は平成16年、栃木県で幼い兄弟が同居していた男の暴力によって死亡した児童虐待事件を受けて始まり、全国に拡大した。11月が運動月間となっている。